

平成 31・令和元(2019)年度
<2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日>

新しいスタンプが完成

平成 31(2019)年 4 月 9 日(火)、「スタンプラリー in 日野宿 2019」に向けて新しい大型スタンプが彫りあがりました。チェックポイントのひとつ佐藤彦五郎新選組資料館のスタンプは、これまで同館から特別にお借りしておりましたが、今回谷享司さんのデザインで新しいスタンプ(彦五郎の雅号「春日庵盛車」の盛車をアレンジ)が彫りあがりました。これで、すべてのスタンプが直径 10 センチという大型スタンプとなりました。



「スタンプラリー in 日野宿 2019」(第 89 弾)

年号が「令和」と改まって間もない 5 月 11 日(土)、午前 10 時から午後 4 時まで、「スタンプラリー in 日野宿 2019」が開催されました。前年に続き、天気にも恵まれ参加者は 628 名(日野駅: 380 名 日野宿本陣: 82 名 多摩オートサービス(甲州街道駅下): 143 名 八坂神社: 23 名)でした。ちなみに昨年は 533 名。午後 2 時半頃にはスタンプ帳が完売となってしまう、参加できなかつた皆さんには大変ご迷惑をおかけしました。

今回は土方歳三没後 150 年という記念すべき年の開催。また佐藤彦五郎新選組資料館のスタンプも他のスタンプと同様に大型になり、皆さんの期待感も高かったのでしょうか。ツイッターにもこれまで以上にたくさんの書き込みがアップされていました。本当にありがたいことです。

なお、開催にあたり、チェックポイント場所を提供していただいた皆さんをはじめボランティア、自治会、さらに日野市職員の皆さん、また中間試験を間近に控えているのにもかかわらず手伝って下さった日野一中 7 名の生徒たち、本当にありがとうございました。



日野図書館前



ゴールでの抽選会

日野一中生徒と日野用水清掃を実施く番外編>

令和元(2019)年7月11日(木)午後4時から、日野第一中学校の生徒会の呼びかけで、同校のボランティア部員を始めとする約80名の生徒たちと、日野宿発見隊の6名とで、校内を流れる日野用水清掃に取り組みました。

例年だと9月に行っていましたが、今年は期末試験が済んで間もないこの日の実施となりました。あいにくの小雨交じりとなりましたが、今回も約1時間、ゴミ袋30袋ほどの雑草や不燃物を取り除きました。生徒会とのコラボによる用水清掃も今年で4回目。今年には高橋校長先生も生徒たちといっしょに取り組み、終始和やかな雰囲気で行われました。

日野宿の発展に重要な役割を担ってきた日野用水が校内を流れるという素晴らしい環境をこれからも是非大切にしていってほしいものです。



夏休み！親子で調べよう日野用水（第90弾）

令和元(2019)年7月27日(土)の午前9時30分から12時まで、新東光寺地区センター前の日野用水で「夏休み！親子で調べよう日野用水」を開催しました。

前年は台風接近のため中止となったこのイベントでしたが、今回もまたしても台風が接近し開催が危ぶまれましたが、当日は幸いにも晴れ上がり無事開催することができました。

参加者は10家族、子ども13名、保護者14名、スタッフ10名、計37名でした。

小杉代表の挨拶、事務局からのオリエンテーション後、早速、井上班・小杉班・清水班の3班に分かれ、親子でいっしょに用水に入り、ヤゴや小魚など用水に生きる生きものを捕まえました。なかでも今回初めてモクズガニが採れたのには驚きました。用水壁にはりついているのをあるお父さんが見つけたとのことでした。1時間ほど経ってからみんなで採った生き物を観察した後、用水に逃がしました。

この後、地区センターに戻って、冷えたオレンジを食べた後、佐々木さんから本の紹介と絵本「ハグロトンボ」の読み聞かせがありました。

1年ぶりの「夏休み！親子で調べよう日野用水」も、こうして無事終了できました。



日野駅 130 年よもやま話の集い(第91弾)

令和元(2019)年8月24日(土)、午後5時から7時まで、森町のギャラリー&カフェ大屋にて、「日野駅 130 年よもやま話の集い」を開催しました。

明治23(1890)年1月に開設され来年開業から130年を迎える日野駅について、金子橋の大貫良夫さんを初め、谷戸の谷富二さん、仲町の猪鼻洋助さん、そして西町の河野喜映さんの4名(70代から90代)をお招きし、地元の皆さんから提供していただいた古写真を見ながら、日野駅にまつわるお話をお聞きしました。

日野駐車場でお召列車をお見送りした話や移設して間もない日野駅で起きた殺人事件の話など、大変興味深い話が盛りだくさんでした。



第 12 回八坂の祭り写真展（第 92 弾）

令和になって初めての「八坂の祭り写真展」を9月1日（日）より9月30日（月）まで開催しました。昭和から平成に至る八坂神社の祭りの写真を八坂神社の玉垣に25点、竹間家フェンス5点、森町消防器具置場の壁面に15点、計45点を展示しました。祭りにみる時代の変遷を皆さんに楽しんでいただきました。

なお新たに製作された昨年の東コースの写真10枚（井上博司氏撮影）は森町消防器具置場の壁面に翌年8月末まで展示しました。



八坂神社の玉垣



竹間家フェンス

北原の松本保さんが亡くなりました



令和元(2019)年10月22日(火)未明、北原の松本保さんが旅立たれました。

昭和7(1932)年4月10日のお生まれといたしますから満77歳。あまりにも早いお別れとなってしまいました。

「たもっちゃん、たもっちゃん」と小さな子から大人まで誰からも慕われた松本さんでした。

床に伏せられる直前まで、電動車椅子で程久保の郷土資料館まで遠出するなど、その行動力には最後まで驚かされました。

日野宿発見隊の活動に当初からご理解をいただき、ご自身が撮った日野宿の写真をたくさん提供してくださいました。庭先にあるビニールハウスのなかで夜遅くまで日野宿の昔話を聞かせてもらったことが昨日のように思い出されます。

提供していただいた写真をもとに写真集ができあがった時の松本さんの笑顔が忘れられません。5月のスタンプラリーでは北原のとんがらし地蔵尊前で、手製のプレゼント(とんがらしと地蔵尊の謂れ書き在中)を参加者に手渡されていました。地元を愛する松本さんのお人柄がよくわかる光景でした。

本当にもっともっとたくさんお話を聞かせてもらいたかったです。

今は心からご冥福をお祈りするばかりです。

なお、生前の交友の広さを想像させる参列者の数に驚かされましたが、その通夜の際に、故人を偲ぶ遺品として写真集『まちかど写真館 in ひの』が展示されていました。第一集(赤色)の表紙は松本さん撮影の写真です。



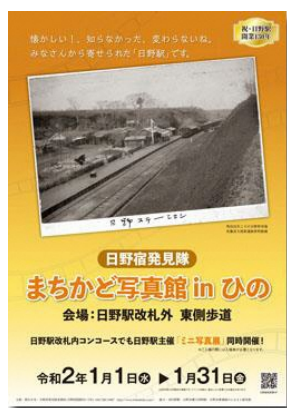
まちかど写真館 in ひの

- 祝・日野駅開業 130 年 - (第 93 弾)

令和 2(2020)年 1 月 6 日 (月)、日野駅は日野停車場として開業してから 130 年を迎えました。この慶事を祝い、1 月 1 日 (水) より 3 月 29 日 (日)、日野宿発見隊主催で「まちかど写真館 in ひの -祝・日野駅開業 130 年 -」(第 93 弾) の写真展を開催しました。

地元の皆さんや日野市郷土資料館から提供していただいた、明治期から昭和期の写真を中心に 42 枚を、日野駅改札外東側歩道の両脇に展示しました。

開業 120 年を皆さんとともに祝った式典や展示会などからあつという間に 10 年が経ってしまいましたが、日野駅は今も私たちの大切な存在として活躍中です。



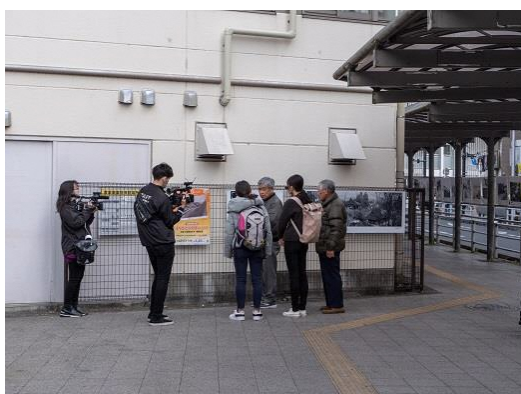
日野駅改札外東側歩道

「まちかど写真館 in ひの -祝・日野駅開業 130 年 -」(第 93 弾)

の写真展を J:COM が取材

令和 2(2020)年 2 月 4 日(火)、開催中の「まちかど写真館 in ひの -祝・日野駅開業 130 年 -」(第 93 弾)の写真展が、J:COM の番組「ひのぶらり道」の取材を受けました。当日は、まず、櫻井さん、清宮さんのお二人に、日野駅改札外東側歩道の両脇に展示中の写真を横町の志村さんと河野さんに案内していただき、その後、横町自治会館に移って、事務局が用意した明治から昭和に至る日野駅関係の写真や映像を紹介しながら日野駅 130 年の移り変わりを見てもらいました。

なお、当日の様子は、J:COM の番組「ひのぶらり道」で「日野駅開業 130 年～『まちかど写真展 in ひの』まちの歴史を訪ねて～」として 3 月いっぱい放送されました。



日野駅改札外東側歩道



横町自治会館

「スタンプラリー in 日野宿 2020」用「日野駅」スタンプが完成



令和 2(2020)年 2 月 8 日(土)、「スタンプラリー in 日野宿 2020」用「日野駅」スタンプが彫りあがりました。平成 27(2015)年 5 月に作製した旧スタンプに代わり、日野駅開業 130 年を記念してこの度新しいスタンプを作製しました。

追記：ただ、残念なことに、コロナ感染症が拡大しこの年のスタンプラリーが中止となったため、令和 4(2022)年 5 月に開催されたスタンプラリーでのお披露目となりました。

日野図書館内で吊るし雛を展示

令和2(2020)年2月18日(火)より3月8日(日)、日野宿発見隊の枝川さんの仲介で、日野図書館内に吊るし雛12基を展示しました。なお、日野宿交流館、中央公民館など多数の施設等で同時開催されました。



令和2(2020)年度
<2020年4月1日~2021年3月31日>

日野宿発見隊二代目代表 加地勝さんが亡くなりました



かねて療養中でした日野宿発見隊二代目代表、加地勝さんが令和2(2020)年8月22日(土)永眠されました。8月7日に81歳の誕生日を迎えてまもない旅立ちでした。「加地蔵さん(お地蔵さんが大好き!)」の愛称で親しまれ、私たちにとって無くてはならない存在でした。本当に残念でなりません。生前お世話になりました多くの皆さまにこの場をお借りしてお伝えするとともに、故人に代わり深く御礼を申し上げる次第です。

「日野駅開業 130 年記念絵葉書」を作成（第 95 弾）

日野駅は令和 2(2020)年 1 月 6 日（月）に開業 130 年を迎えました。そこで、日野宿発見隊では、地域の方に提供していただいた写真の中から、日野駅にまつわる写真を選び、絵葉書セット（12 枚ケース入り）を作成しました。

日野宿発見隊活動支援金として、1,000 円をご寄付くださった方に 1 セット進呈中です。（令和 5<2023>年 9 月末現在、在庫僅少）



第 13 回八坂の祭り写真展（第 96 弾）

コロナ感染拡大のため八坂の祭りは残念ながら中止となりましたが、日野宿発見隊では少しでも皆さんに元気を取り戻していただこうと、13 回目の八坂の祭り写真展を 9 月いっぱい開催させていただきました。

今回は玉垣および南側フェンス、竹間家フェンス、森町消防器具置場の壁面に、昭和の後年から昨年までの写真を 74 点展示しました。なお、新たに製作された昨年の西コースの写真 10 枚（井上博司氏撮影）は森町消防器具置場の壁面に翌年 8 月末まで展示しました。



八坂神社の玉垣 25 点



森町消防器具置場壁面 15 点



竹間家フェンス 5 点



八坂神社南側フェンス 29 点

日野駅開業 130 年記念WEB講演会（第 97 弾）

令和 2(2020)年 11 月 6 日（金）、日野市在住の地図研究家今尾恵介氏をお招きし、日野駅開業 130 年記念講演会「東京近郊の鉄道網の発達と日野駅の成り立ち／日野宿に駅を！ 10%の壁と招致合戦／日野駅開業 その後」（会場：日野市郷土資料館／コロナ感染予防対策のため非公開）を開催し、12 月 1 日（火）からこの日収録された映像を YouTube にて公開中です。

日野駅開業 130 年 記念

今尾恵介氏によるWeb講演
日野宿発見隊YouTubeチャンネルにて公開中

<p>Web講演.#1 東京近郊の鉄道網の発達と 日野駅の成り立ち</p> <p>URL:https://youtu.be/mdQrxIV_8to</p>	
<p>Web講演.#2 日野宿に駅を！ 10%の壁と招致合戦</p> <p>URL:https://youtu.be/IjU5XSKaoPw</p>	
<p>Web講演.#3 日野駅開業 その後</p> <p>URL:https://youtu.be/sY0FEeX5nmw</p>	

制作：日野宿発見隊

まち歩き会「線路沿いを歩く - 微に入り 細に入り -」（第 94 弾）

令和 3(2021)年 3 月 20 日（土）、まち歩き会「線路沿いを歩く - 微に入り細に入り-」を開催しました。

このまち歩き会は日野駅開業 130 年を記念して、前年の 1 月の写真パネルの展示会のあと、3 月に予定されていましたが、しかし、思いもよらぬ新型コロナウイルスの感染拡大のためやむなく順延となっていました。漸く本日開催することができました。

日野図書館を出発するときには小雨が落ち始め少々心配しましたが、しばらくすると日差しもでてきて一安心。咲き始めた桜の花をめでながら、130 年間にわたって私たちの生活を支えてくれた日野駅や鉄道施設の歴史を偲ぶ、のどかな早春のまち歩き会となりました。参加者は市民 9 名とスタッフ 9 名、計 18 名でした。



日野駅東側 山下堀日野用水導水路説明板前



日野駅西側 日野用水上堰・日野煉瓦橋梁



中央線多摩川橋築堤（日野煉瓦）



立川側多摩川鉄橋橋梁（日野煉瓦）

令和 3(2021)年度
<2021年4月1日~2022年3月31日>

デジタルスタンプラリーin 日野宿 2021 (第 98 弾)

令和 3(2021)年 4 月 29 日 (木) から 5 月 9 日 (日) まで、「日野宿」を会場にした「デジタルスタンプラリーin 日野宿 2021」を開催しました。

コロナ禍のため、いつものドデカスタンプでのラリーとはなりませんでした。参加者の皆さんの安全・安心を図るため、スタンプ画像をカメラで撮影して集める方法での開催となりました。

この間、「日野宿」を巡っていただいた方は 598 名。17 か所をすべて集めた「コンプリート」の記念品を受け取ったのは 265 名でした。ちなみに、記念品は「日野駅開業 130 年 記念絵葉書 (12 枚セット)」でしたが、コンプリートした子どもの中には、10 か所制覇でもらえる缶バッジの方が魅力的だった子もいたようです。



親水広場



日野銀行跡 有山家



渡邊家蔵



日野図書館

小さな兄妹連れの家族、一家総出、全員がもちろんスマホ持参、もちろん単身参加の方まで様々な皆さんに楽しんでもらえました。

「デジタルスタンプラリーin 日野宿」のために制作したデジタル MAP へのアクセス数も期間中に 8,000 件を超えました。この MAP には、日野第一中学校、日野大坂上中学校の生徒たちが「撮りおろした」日野宿紹介動画がアップされています。

日野宿発見隊のホームページをリニューアル

令和 3(2021)年 7 月 6 日 (火)、日野宿発見隊のホームページ (画像: 上) をリニューアルしました。同時に「まちかど写真館データベース」(画像: 下) も一新しました。日野宿に関心をもたれる方には必見の内容です。是非ご活用ください。



夏休み！親子で調べよう日野用水（第99弾）

令和3(2021)年7月24日（土）午前9時30分から「夏休み！親子で調べよう日野用水（第99弾）」を開催しました。

参加者は9組の親子（子ども11名、大人10名）とスタッフ9名（うち事務局2名）、計30名でした。

緊急事態宣言下でもあり、感染予防を考慮し、今回は募集人員を例年の半数とし、内容も新東光寺地区センター前の用水での生き物観察に限定した取り組みとなりました。

オリエンテーションのあと、早速、井上班と清水斑の2組にわかれ、親子で生き物の捕獲に出発。各リーダーのアドバイスを受けながら、網を片手に親子で用水をガソゴソガソゴソ。最初はなかなか捕まえられませんでした。コツがわかってくると少しずつ生き物の数も増えていきました。そんななか、井上リーダーが長さ1メートルほどのシマヘビ（無毒）を捕獲！ほとんどの子が怖がるなか、平気でシマヘビにさわって、その皮膚の触感を楽しむ(?)1年生が登場。ついにはシマヘビを首の回りに回してもらってご満悦。第二の井上リーダーの誕生に微笑んでしまいました。かくゆう筆者も生まれて初めてヘビに触りました。想像していたヌルヌル感はまったくなく感激。



「シマヘビなんかへっちゃら！」



井上さんからのレクチャー
を熱心に聞く子どもたち

1時間ほど生き物捕獲に挑戦したあと、桜並木の下に集合し、井上リーダーから捕獲した生き物について解説を受けました。カワムツを始めとして、アカザ（ナマズにいてい）・ザリガニ・ヤゴ・スジエビ・カワナなどさまざまな生き物がいることを確認。今回はモクズガニやドジョウには会えませんでした。事前に井上リーダーが捕ってきてくれたカマツカ3匹が披露されました。井上リーダーの解説のあと、用水に放流したシマヘビが上手に泳げることをじっくり観察したあと、お約束どおり捕獲したすべての生き物

を用水に放流。最後に、事務局による日野用水や生き物に関する本の紹介を受けたあと、参加者全員にお土産のバッジが配られ、11時30分、事故もなく無事閉会となりました。

開削されてから450年以上も経つまちの宝「日野用水」。今こうして子どもたちがたくさん生き物に触れられることを心から感謝したいです。

2年ぶりの「夏休み！親子で調べよう日野用水」でしたが、参加申し込み初日の短時間で定員となってしまう、希望された皆さんにはご迷惑をおかけしました。

第14回八坂の祭り写真展（第101弾）

2年目に入ったコロナ禍で、私たちの日常はすっかり変わってしまいました。ウイルス感染の恐怖に慄くばかりです。八坂神社の神輿渡御も前年に引き続き本年も中止となりました。このような状況でしたが、日野宿発見隊では皆さんに少しでも元気を取り戻していただくとうと、本年も八坂の祭り写真展を9月いっぱい開催させていただきました。

八坂神社の玉垣（25点）と南側フェンス（24点）及び森町消防器具置場壁面（15点）と竹間家駐車場フェンス（5点）に、明治期から令和2年までの写真69点を展示しました。八坂の祭りにみる時代の変遷はもちろんですが、お祭り好きのお知り合いを発見する楽しいひとときとなったようです。



玉垣 25点



南側フェンス 24点



森町消防器具置場壁面 15点



竹間家フェンス 5点

日野宿発見隊の展示コーナー



日野宿発見隊の事務局がある日野市立日野図書館の2階、階段を上がって突き当りのところに、日野宿発見隊の展示コーナーを設置しています。平成18(2006)年6月から始まった日野宿発見隊の活動の紹介、また写真集『まちかど写真館 in ひの』や絵本『ひのっ子日野宿発見』などの成果物も多数展示しています。日野図書館にご来館の折は是非ご覧ください。

常盤祭で日野宿発見隊の活動を紹介

令和3(2021)年11月13日(土)・14日(日)に開催された実践女子大学の常盤祭で、日野市立図書館の移動図書館やヤングスタッフの活動とともに、日野宿発見隊(事務局:日野図書館)の活動を紹介します。



佐藤喜通さんのこと



日野宿発見隊メンバーの佐藤喜通さんが亡くなられました。かねてから病氣療養中でしたが令和3(2021)年11月7日(日)68歳とあまりにも早い旅立ちとなりました。佐藤さんは地元の日野囃子保存会の会長として長年活躍されましたが、日野宿発見隊でも「よしみっちゃん」として親しまれ、日野宿発見隊の夕涼み会や子ども祭りなどのイベントで、日野囃子保存会の皆さんと共に囃子を奏でてくれました。一見強面ですが実は優しく、甘い声音でいつも笑顔で接してくれる楽しい人でした。左の写真は令和2年の八坂の祭りの際に展示され

た祭りの写真を前にふたり目のお孫さんを抱いた「よしみっちゃん」です。この展示中の写真にも宮神輿を担ぐ元気な姿が写っていました。またもう1枚はイベントでひょっとこ踊りを披露する「よしみっちゃん」。祭りとは切っても切れない存在でした。もう会えないのは本当に残念ですが、今頃はあちらの世界で先立たれた囃子連の皆さんとお囃子を奏でられていることでしょう。「よしみっちゃん」本当にありがとうございました。ゆっくりお休みください。合掌



安西清さんのこと

令和3(2021)年11月25日(木)、安西清さんが亡くなりました。享年77歳でした。安西家の屋号は金子屋、日野宿ができたころからの旧家です。安西清さんは会社を經營されるなか、長年保護士をはじめ福祉関係や地域活動で貢献されてきました。日野宿発見隊でも当初からご理解ご支援をいただきました。特に日野宿の写真集刊行にあたり、お兄さんの実さんともども貴重な写真を多数提供していただきました。写真は平成20(2008)年6月7日(土)に開催された「まちかど写真館 in ひの」ツアーで、戦後間もないころの横町の景色を撮った写真を解説してくださる在りし日の安西清さんです。また、屋号看板作りでは敷地内にあったという柿の古木を提供していただき「可祢古屋」(金子屋)の屋号看板を製作できました。ここ数年入退院を繰り返されていたとお聞きして心配していましたが、佐藤喜通さんに続きまたしても大事な方とお別れとなってしまいました。本当に残念です。今は心よりご冥福をお祈りするばかりです。合掌



可祢古屋 (屋号：金子屋)

第16回子ども発見隊「行灯をつくろう」(第100弾)

令和3(2021)年12月4日(土)午後3時から5時まで、第16回子ども発見隊「行灯(あんどん)をつくろう」を開催しました。このイベントは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で延期となっていたが、ようやく開催することができました。

行灯を作るのに必要な材料については、木材はマルセさんのご協力があり、半紙は猪鼻輪業さんから寄贈していただきました。開催にむけて隊員が木枠を作製し、準備を進めてきました。

当日は、日野宿発見隊の隊員が講師になり、行灯の作製手順などを説明しました。テーマは“妖怪”。「コロナを撃退する妖怪を描こう!」としました。

講師から、デザイン画の見本を見せてもらった後、作製開始。まずは、下絵を描き、次にその紙の上に半紙をのせて筆ペンで絵を写しとり、色を塗りました。どんなデザインにするか、親子でじっくり話していました。作画の参考にしていただくため用意した、妖怪や郷土玩具の図書館の本もよく利用されていました。なかにはイメージを広げて、持参した紅葉のスケッチをする子や、かわいがっているペットを描く子もいました。

また、今回は特別に、日野宿発見隊のスタンプラリーで使う「ドデカスタンプ」を用意しました。スタンプの鮮やかな色で行灯に彩りを添えることができました。絵が完成したら、水で薄めたのりを刷毛で木枠にぬって半紙を貼り付けたらできあがり。行灯の完成を喜び、親子でハイタッチする姿もみられました。

完成した行灯を持って、全員で普門寺に移動。普門寺では、各自思い思いの場所に行灯を置いて、あかり(電池式のライト)を灯しました。普門寺の方がお堂の中の照明を灯し、扉をうっすらと開けてくださったので、より、雰囲気を楽しむことができました。ご参加くださいました皆様、ご協力くださいました地域の皆様、ありがとうございました。



立川飛行場解説 100 周年記念

まち歩き会「空の都・たちかわ巡り」〈番外編〉

令和 4(2022)年 3 月 20 日(日) 日野市在住の航空ジャーナリスト横川裕一氏を講師に迎え、「空の都」と呼ばれた立川市の戦前史を追うべく、立川飛行場東側を中心にフィールドワークを行いました。残念ながら今回は感染症を考慮し、日野宿発見隊メンバーの内部研修会として開催しました。当日横川さんより資料『立川飛行場開設 100 周年記念 まち歩き「立川飛行場東側」』の配布がありました。

当日辿ったコース

- ①「風に向かって」 作者は銅板造形家の赤川政由氏。
- ②旧飛行第五連隊正門跡
- ③立川小唄記念碑とヒマラヤ杉
- ④街区
- ⑤R-HM
- ⑥グリーンスプリングスからの旧立川飛行場
- ⑦日米友好スズカケノキ
- ⑧旧立川飛行機正門
- ⑨旧石川島飛行機製作所大組立工場
- ⑩旧立川飛行機給水塔と立飛企業発祥の碑
- ⑪多摩モノレール「高松」 駅からの旧立川飛行工場
- ⑫多摩モノレールからの旧立川飛行工場
- ⑬旧日立航空機立川工場変電所

①



⑥



⑬

奇しくもこの年の 2 月 24 日(木)に、ロシアによるウクライナ侵略が始まりました。コロナ禍で混乱する世界をよりいっそう混迷の渦に巻き込んでいます。先の大戦から 80 年近く経っても未だに武力闘争がやまないこの世界に辟易するばかりですが、私たちの活動はごく小さな取り組みかもしれませんが、市井の民が平和な日々を過ごせるよう少しでも役にたてればと願うばかりです。

